



川岸学園の校名・園名が正式に決定しました！

令和8年6月8日から7月3日まで実施したパブリックコメントには、13名の方から貴重なご意見をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見を踏まえて検討した結果、義務教育学校および認定こども園の両施設の正式名称が決定しましたので、お知らせします。

義務教育学校	岡谷市立川岸学園義務教育学校
認定こども園	岡谷市立かわぎし認定こども園

川岸学園

条例上の名称は「川岸学園義務教育学校」ですが、日常的には子どもたちにも覚えやすく、地域みなさんにも親しんでいただける「川岸学園」を愛称（通称名）として使用し、学校の授業やお便り、行事の案内など、さまざまな場面でこの愛称を用いていくこととします。

パブリックコメントでいただいた主な意見内容

■「義務教育学校」について

ご意見：「義務」という言葉が堅苦しい。「川岸学園義務教育学校」という名称が長い。

市の考え方：学校設置条例には、法律上の学校種別である「義務教育学校」を明らかにする必要があるため、正式名称は「川岸学園義務教育学校」としています。



▲ パブリックコメント
結果概要はこちら

■名称に「川岸」が含まれることについて

ご意見：総称名・校名・園名のすべてに「川岸」が含まれ、重複しており、新鮮さに欠ける。

市の考え方：公募の結果、地域の皆様から「川岸」という地名への強い愛着や残してほしいという声が、校名、園名ともに最も多く寄せられたため、「川岸」を含む名称としています。

■「かわぎし認定こども園」の「認定」表記について

ご意見：かわぎしのひらがな表記は良いが、「認定」の表記は必要か。また、通称名の考えは。

市の考え方：新たに制定する認定こども園の設置条例では、施設種別がわかるよう、法的な正式名称である「認定こども園」を使用します。通称名は設けず、親しみを感じていただける呼び方が自然と定着することを期待しています。

■岡谷西部中学校の歴史保存について

ご意見：名称は概ね良いが、閉校となる岡谷西部中学校については「30周年記念誌」が発行されているのみであり、それ以降の歴史が空白にならないよう、記録保存等をお願いしたい。

市の考え方：歴史や思い出を後世へ継承することの重要性を深く認識しています。市史編さん室での記録保存なども含め、関係各課と連携しながら今後の対応を検討してまいります。

川岸学園整備事業の進捗状況について

令和9年度の義務教育学校開校に向けて、整備工事が着実に進んでいます。第1期工事と第2期工事について、直近の様子を写真とあわせてご紹介します。

【第1期（既存校舍等解体）工事】

認定こども園の建設地となる「教室棟西(低学年棟)」の解体工事が完了し、整地も終わりました。これにより、認定こども園を新たに建設する環境が整いました。



【第2期（長寿命化大規模改修）工事】

普通教室や特別教室などの内部解体を行い、躯体(建物の骨組み)を残した状態になりました。今後はこの躯体を活かして大規模改修を進め、新築同様の環境へと整えてまいります。



旧調理室と旧被服室に加え、吹き抜け部分にも床を増やし、「メディアセンター」として一体的な空間に整備します。タブレット端末を使ったICT教育環境と、図書館機能を兼ね備えた広々とした学びの場として、令和9年度から活用される予定です。



【第2期（接続棟建設）工事】

西部中学校の校庭では、小中をつなぐ「接続棟(小中共同給食室)」の建設が進んでいます。現在、根切り(地面の掘削)→ 砕石敷きならし(地盤を平らに固める)→ 基礎工事(鉄筋組立、コンクリート流し込み)→ 建て方(鉄骨の組立)の工程まで進んでいます。

